

多分人の議を不認し、對平問題には無用な  
決議もなはし、認むる團體なることを思はる。

う。あ

### 脱退理由の聲明

— 僚友諸兄に告ぐ —

大正十一年十二月二十日を以つて、吾々は機械部  
工組合を脱退した。今その脱退理由を聲明して、一  
般僚友諸兄の隔意ない了解を得たいと思ふ。

過ぐる大阪に於ける全国的總聯合大會の決裂以來  
技工組合の内部に於いては、自由聯合論者と合同論  
者を生じ、個々に歴々論戰を行つてゐた。

十二月九日の中央委員會に於いて、労働週報に關  
する報告に端を發し田中貞吉君は、『自由聯合論者  
と合同論者とあつては組合運動の歩調の一致を欠  
く』ことを理由として、『分裂』を提議し、十二月  
十六日に臨時大會を開催して、これが決定をなすこ  
とになつた。

吾々今日連袂脱退したものの中には、合同論者も  
ある。しかし凡てが必ずしも、合同でなければなら  
ぬと主張するものでもなく、亦聯合を必ずしも偏く  
まで、反對せんとするものではない。しかし吾々は  
『分裂』の提案に對しては、『現状維持』を主張して  
極力反對した。その理由は大體次の三つである。

第一に吾々兄弟は日々資本階級と戦つてゐる。資本家  
には第一命がある。その上右の組織された機關を一手  
に占有してゐる。此れに對し吾々には、何の力がある。  
それは團結の力だけだ。寒く飢へた吾々兄弟には團結の力  
以外に何のものもない。しかも團結が眞の力となる爲には、  
多人數の團結がなければならぬ。

吾々の團結は、即ち組合である。組合が有力な組合と成  
るには、どうして組合員が多く成らねばならぬ。

第三に、中央委員會當日の議論を見るに、『杉浦君退勤  
告』案等も出て、『分裂』提案の背後には、『杉浦君排斥』の  
意があるらしく思はれる。人間は遂に完全ではない。そこ  
に反感も憎悪も或は生ずるかも知れない。しかし吾々は  
なる敵を前にしてそんな小感情を云々してゐる暇がない。  
技工組合が杉浦君の組合でないと同時に、杉浦君は反感を  
有する人々の爲の組合でもない。吾々が杉浦君と組合の中  
に有する、ことに何等不利益を感じないのは勿論のこと、そ  
れ等の理由を背負さず『分裂』には斷乎として反對する。  
以上の理由に依つて反對し、そして多數の賛成者  
を得ることが出来た。

十六日の臨時大會は、出席人數が三分ノ二に達せ  
ないが故に流會となり、二十日に再會された。

二十日には分裂論者は、竹谷町支部が擧げて『現  
状維持』に投票するやうになつたので形勢不利と見  
てか、更らに出席者の頭數に於いて分裂論者の多數  
なるを尙貸措くべしとして、緊急動議を提出し、臨  
時大會を通常大會に変更した。そもそも大會なるも  
のは、組合員全部に通告して後、此れを開催すべき  
である。しかるに欠席者の委任狀は『分裂』問題に  
のみ効力を限られてゐるにもかかはらず、出席者に  
よつて、シヤムニ緊急動議を通過せし如きは、彼  
等の常套語『自由』はそこに影をひそめ、それは甚  
しき專制、甚だしき獨裁、甚しき暴君的行爲である。  
吾々は『分裂』反對の委任狀は多數有するも、出席  
者の少數によつて、如何にしても此の暴君的行爲

証 年 月 日

12.11.12